

<b>令和4年度 指定管理者施設管理評価シート</b>		<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課	
<b>施設名称</b>	24 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人聖風会	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1) [設置目的]	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2) [所在地]	台東区台東1-25-5
[規模]	床面積 (㎡) 延21,236.85の内1,147.49 RC造地上14階地下2階のうち3階の一部 デイルーム、食堂、機能訓練室、談話室、クリーンルームなど
(3) [委託事業]	①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般型デイサービス：30名、認知症対応型デイサービス：12名）
[自主事業]	自主事業は行っていない
(4) [利用者]	要支援・要介護と認定された高齢者
[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5) [開館日・時間]	祝日を含む月曜日から土曜日（1月1日から1月3日を除く）8時30分～17時40分
(6) [人員体制]	18名 （内 訳）施設長(1)←特養と兼務、生活相談員(2)、栄養士(1)←特養と兼務、機能訓練指導員(1)、事務職員(1)、介護職員(常勤3、非常勤7)、看護師(1)、運転手(非常勤3)  （前年増減）1名減（看護師1名減）

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	2,513,000	2,513,000	2,513,000	2,513,000
	利用料金収入	85,383,000	82,308,961	88,331,000	71,061,012
	その他収入（利用者等外給食費収入等）	804,000	10,923,544	768,000	921,298
	計	88,700,000	95,745,505	91,612,000	74,495,310
支出	人件費	71,412,000	71,271,182	72,337,000	74,877,102
	光熱水費	6,101,000	7,153,890	6,550,000	7,513,487
	維持管理費（委託料・賃借料）	3,256,000	4,420,654	4,960,000	5,184,515
	修繕費	220,000	224,664	350,000	475,638
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	7,711,000	10,123,414	7,415,000	10,104,806
	計	88,700,000	93,193,804	91,612,000	98,155,548
収支			2,551,701		-23,660,238

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
定員（一般型デイサービス）	人	30	30	30	30
定員（認知症対応型デイサービス）	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率（一般型デイサービス）	%	55	63.4	56.9	49.9
利用率（認知症対応型デイサービス）	%	55	60.6	56.3	47.6

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
令和2年度の課題であった、適切な予算執行への取組が不十分であり、利用料金収入減によりマイナス収支になっている。また、令和2年度指摘事項の、労働保険年度更新の労災保険分申告にかかる算入漏れは修正した。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令の遵守、事業計画書の提出、区との連絡調整等、全体として適切な管理が行われている。また、令和2年度指摘事項の、労働保険年度更新の労災保険分申告にかかる算入漏れも修正した。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	一般・認知デイの利用率は、4月時点は平均55%であったが、コロナ禍、入院等により徐々に利用率を下げ、その間新規利用者を獲得できなかった。他の区立デイサービスは概ね令和2年度から利用率増になっており、利用率向上のため一層の工夫が必要である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常点検により危険箇所の把握に努め、事故防止策の実施に努めた。また、新型コロナウイルス感染防止対策についても、介護用品、浴室、送迎車両の清掃・消毒を徹底して行ない、コロナ禍でも事業運営に支障を来さないよう取組を継続している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	新型コロナウイルス感染防止対策のため家族会等が未実施であるが、満足度調査結果においてデイサービスの主要な事業である入浴、リハビリ、また送迎に関して寄せられた要望に対し、福祉施設の事業所として可能な限り要望に応え、サービス向上を目指している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
11 / 20 点	人件費等の経費が予算を越えた支出となり、また支出に見合った収入決算を実現できていない。利用率減少に対する、新規利用者を増やす取組が不十分なため、大幅なマイナス収支に陥っている。収支のより一層の改善が必要である。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
適正 ( 88 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策は適切な処置を行い、満足度調査においても概ねサービスに対する評価は良好である。しかし、入院等により減少した利用者数に対し新規利用者の数が増えていないため、利用料金収入が大幅な減になっている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新規利用者を増やす取組が不十分なため、大幅なマイナス収支に陥っている。経費の節減により支出を抑えて、同時に利用人数を増やすことにより利用料金収入を増やし、収支の改善を行う必要がある。</p>